

第4回 双葉町復興まちづくり委員会 きずな部会 議事概要

■日時 : 平成25年1月17日(木) 午後3時00分~午後3時45分

■場所 : 双葉町役場埼玉支所 4階 4-C

■出席者 : 別紙座席表のとおり

■議事概要

1. 開会

2. 議事

(1) 双葉町民のきずなの維持・発展に向けた取組の考え方について(審議)

資料2、3、4に基づき、事務局より説明後、質疑。委員の主な意見は、以下のとおり。

- 住民コミュニティの話がまだ弱い。プライバシーの問題を脱却してもいいと思う。子どもが最大の被害者で柱が抜けている。
- 優れた景観の場所に双葉町が出来た。この大きな財産をどのように考えていくかで、伝統文化等が変わってくる。方針を決めた上で、生活の仕方が多様でないと、今のままでは難しい。空間価値を発掘し、次の世代に繋げるのが基本だと考える。
- 仮の町で、集中型は難しいと思う。分散型になった場合、その中で核になる場所が重要である。その場所で伝承も含めたコミュニティの核をつくりたい。
- 借上げ住宅等に社会福祉協議会が訪問し、喜ばれている。しかし、広範囲で大変である。民生委員を増やし、きめ細やかなフォローするには、経費補助、委員補助の限度がある。高齢者は他の地区の生活相談員等では受け入れてくれない。双葉町民が中心になり訪問することが重要である。住民ボランティアも必要ではないか。
- 避難地域の行政区の方々とお城の散歩、自治会の集まり等に参加し、交流している。
- 子ども世代の再会は有意義である。子どもが参加してくれることが大事であり、会いたいという気持ちがある。その場に文化を継承するのが大事ではないか。
- 町長の帰還までの30年の発言が遅い。もっと早く言ってほしかった。帰れないのであれば、それなりに進めて行けた。高齢者は帰るつもりだった。
- 今まで被災されてどういうプロセスがあったかが大事である。プロセスを積み重ねていくことが、コミュニティの役割である。
- 新電話帳を作ってどれだけのメリットがあるのか。

(2) その他

3. 委員会

第4回きずな部会座席表

(敬称略)

岡村
隆夫



1 日時 平成25年1月17日(木)

15:00~15:45

2 場所 双葉町埼玉支所 4階 4-C

中村 富美子
岩元 善一
(代理) 横山 泰仁
松本 浩一

宇杉 和夫	橋本
齊藤 宗一	事務局 西牧
	松崎
大住 宗重	
今泉 祐一	事務局